

受審番号

氏名

1、全日本剣道連盟制定の「剣道修錬の心構え」について述べているが、()内に正しい語句を記入しなさい。【20点】

剣道を正しく()に学び、()を錬磨して()なる()を養い、剣道の特性を通じて()をとらとび、()を重んじ()を尽くして、常に()につとめ、以って()を愛して、広く人類の()に寄与せんとするものである。

2、三殺法についての記述であるが、()内に正しい語句を記入しなさい。【20点】

相手を制するための手段として、相手の剣() ()を封ずることを三殺法という。

- 剣を殺す 相手の剣を()え、()うなどして、剣の働きを制する。
- ()を殺す 先手、先手と()め、相手に()を仕掛ける余裕を与えない。
- ()を殺す ()で相手を()し相手が攻撃しようとする機先を制する。

3、「剣道試合・審判規則」第12条の「有効打突」についての記述であるが、()内に正しい語句を記入しなさい。【20点】

有効打突は()した氣勢、()な姿勢をもって、竹刀の()で打突部位を()打突し()あるものとする。

4、打突の機会を五つあげなさい。【記述式 20点】

-
-
-
-
-

5、日本剣道形についての記述であるが、()内に正しい語句を記入しなさい。【20点】

- 太刀の構えは()の構え、()の構え、()の構え、()の構え、()の構えの五つがある。
- 足の運びは原則として()する時は()から、後退するときは()から動作を起こす。
- 日本剣道形1本目の打太刀は()仕太刀は()に構える。
- 3本目の打太刀は機を見て()を仕太刀の()に向け、右足から()踏み込み、()で()ながら諸手で仕太刀の()を突く。
- 打突した際は()を残さず()に伴って引きつけて()が広がらないように下腹に力をこめ()を入れて打突する。

6、打込み稽古と掛り稽古の違いを簡単に述べなさい。【記述式 20点】

打込み稽古

掛り稽古

7、「残心」について簡単に説明しなさい。【記述式 20点】

8、「試合の目的・効果」について述べているが、()内に正しい語句を記入しなさい。【20点】

試合とは、日頃の稽古で修得した()、気力、体力、()などを十分に発揮し、勝敗の()をとらとび日頃の稽古内容を()し、今後の剣道の()を探求することである。

以上